

第 39 回ナノビズマッチ (NBM) 聴講者 募集のご案内

『 環境浄化 』 編

NBCI ビジネス委員会

ナノテクノロジービジネス推進協議会 (NBCI) のビジネス委員会では、技術シーズと市場のニーズのビジネスマッチングを目的とした「ナノビズマッチ (NBM)」を開催しております。

今回は【環境浄化】を全体テーマとし、関係する基調講演、ビジネスパートナーを探索している企業からの技術シーズ発表、およびポスターセッションを実施いたします。

- 日 時 : 平成 22 年 3 月 25 日 (木) 13:30~17:30
- 場 所 : 日本貿易振興機構 (JETRO) 5 階会議室
<http://www.jetro.go.jp/jetro/profile/map.html>
(東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 5 階)
- 共 催 : ナノテクノロジービジネス推進協議会 (NBCI)
日本貿易振興機構 (JETRO)
イノベーション・エンジン株式会社
株式会社 シナジック
- 参加費 : NBCI 会員 および JETRO・メンバーズ会員 無料
非会員 (上記以外の方々) 2,000 円
- 募集人員 : 100 名
- 参加申込 : 参加者名、会社名、所属、E-mail アドレス、および所属会員 (NBCI, JETRO, 他) をご記入の上、NBCI08-BIZMATCH@nbcj.jp 宛てにお送りください。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

13:30~13:35 開会挨拶 NBCI ビジネス委員会 委員長 佐野 睦典

(1) 【講演・発表】

13:35~14:05

株式会社 STAC 『 快適環境を創造する拡散スクラバー法による有害ガスの除去処理技術 』
発表者：取締役 技術担当 田中 茂 氏

[発表概要] 化学処理フィルターや活性炭等の従来技術では、空気をろ過するので大量の汚染空気処理の場合通気抵抗が問題となる。拡散スクラバー法の場合、平行板間の狭い隙間に空気を流すので通気抵抗が少なく、小型な装置で大量の汚染空気中 VOC (揮発性有機化合物) を除去できる。本 VOC 除去処理システムは、ガス状 VOC を多孔質テフロン膜を用いた平行板型拡散スクラバー内の除去液で吸収・回収し、熱処理により VOC と除去液に分離して、VOC を回収するとともに除去液を再生して循環使用する技術からなる。実験ラボでの試作装置による性能評価試験は終了し、有害ガス除去処理に関して極めて高い性能を得た。

今後は、様々な生産・生活環境現場において VOC 高性能浄化装置の性能評価試験を行い、その有効性を確認する。

[発表目的] 開発資金の確保、装置販売の促進・販路拡大、共同研究・受託研究の確保

14:05~14:35

グラフトラボラトリーズ株式会社 『 放射線グラフト重合法を用いた高性能化学吸着剤 GRAFTON 』

発表者：代表取締役 石渡 史朗 氏

[発表概要] 当社では、独自の同時照射法をもちいた放射線グラフト重合技術による、各種化学吸着剤の製造・販売を行っている。高い吸着官能基濃度をもつ吸着剤を実現する独自技術・ノウハウを用いて、従来技術に比べてより高い吸着性能をもつ吸着剤を提供している。当社の製品は、シックハウス対策剤、消費者向けの悪臭消臭剤や、エアコンの悪臭除去フィルター、産業用途では化学不純物の除去フィルター等広範にわたっている。

今回は、それら開発した製品の事例をベースに、当社が保有する技術の特徴を紹介しながら、さらに新しい応用可能性について参加者各位と検討したく考えている。

[発表目的] 共同開発、受託開発の可能性探索、市場およびビジネスパートナーの開拓

14:35~15:05

株式会社 SNT 『 硫化物ガスを分解するナノ触媒による空気清浄技術 』

発表者：代表取締役社長 白鳥 世明 氏

[発表概要] 生ゴミ臭を即座に分解する触媒！ 究極の脱臭剤！

ゴミ臭の根源であるメチルメルカプタンを活性炭の 250 倍除去・分解します。また硫化水素の分解に即効性を発揮します。(特許申請中) 活性炭と異なり「吸着」ではなく「分解」ですから長寿命です。「光触媒」ではありませんので光がない暗所でも脱臭機能は変わりません！省エネに貢献します。

[発表目的] 共同研究・受託研究の獲得、開発資金の確保、脱臭装置販売の促進・販路拡大、ニーズ探索

15:05~15:15 休憩

15:15~16:00

基調講演：『環境エネルギー革命の展望』

講師：株式会社ナノオプトニクス・エナジー 代表取締役 藤原 洋 氏

[講演概要] 最初に、産業革命を先導するのは、技術革新とこれを産業化する企業家の存在であることを明確化する。次に、デジタル情報革命の進展とその行方を予測する。そして来るべきは、「環境エネルギー革命」であることを述べ、その背景に「社会発展の原動力は、イデオロギーでなくテクノロジーである」という基本的な考えの下、「環境エネルギー社会」到来の大胆にして精緻な予想図を浮き彫りにする。

四十年後には、クラウドコンピューティングの進展からIT関連のエネルギー消費が半分に到達するようになる。そこで、砂漠で大量に太陽光発電をし、超伝導ケーブルを使って世界中にネットワークを張ることが重要になってくる。

このような科学技術の発展によるエネルギー技術の進歩が、新たな産業と雇用を生み出し、経済のあり方も変えていくこと、そして、アメリカ、EU、日本、BRICs等どの国家や地域が次なる産業革命を主導するのかについて、詳細かつ具体的に展望する。

16:00~16:30

株式会社フミン 『窓ガラスで赤外線とUVを吸収する透明スプレーガン塗装方法』

発表者：代表取締役 八木澤 勝夫 氏

[発表概要] 従来はガラス・半導体などに金属の薄膜塗装方法は高額装置によるスパッタリング・真空蒸着方法といった真空でなければ綺麗な薄膜はできないと思われていた。フミンコーティングは市販のスプレーガンで大きさ・形状・素材(アクリル、ポリカーボネート、アルミ他)・状況に関係なく2μ前後の歪みや斑のない透明な塗膜形成を可能とした特許技術である。窓ガラスに半導体やタッチパネルなどに使われている伝導性金属酸化物のATO、ITOをナノサイズ(可視光線に影響しない)まで粉碎し窓ガラスに均一に塗れば、夏季の暑い赤外線をガラスが吸収し暑さを軽減、冬季は室内の熱を吸収し結露の抑制になる究極の省エネ・CO2対策技術である。

[発表目的] 販路拡大(特に海外) 海外展示会の支援

(2) 【ポスターセッション】

16:30~17:30

発表企業5社によるポスターセッションを行います。同会場にて。

発表者と参加者と、個別に情報交換・名刺交換・ビジネスマッチングを行なっていただけます。

